

令和7年度
福岡県ワンヘルスボンド
インパクトレポートブック

福岡県
Fukuoka Prefecture





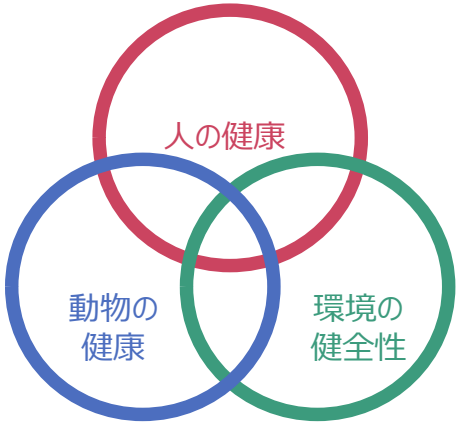
福岡県のワンヘルスに関する取り組み

ワンヘルスとは

- ワンヘルス（One Health）とは、「人の健康」「動物の健康」「環境の健全性」を一つの健康と捉え、一体的に守っていくという考え方です

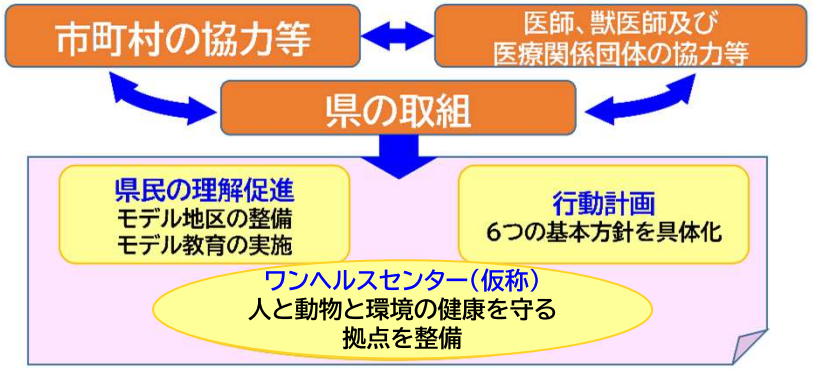
ワンヘルスの経緯

- 2004年にアメリカで開催された「“One World－One Health”」をテーマにしたシンポジウムにおいて、世界保健機関（WHO）など世界中の専門家が、感染症リスクの抑制を図る戦略的枠組みとして提示した12の行動計画「マンハッタン原則」が制定されました。その後、2012年に世界獣医師会と世界医師会が「ワンヘルス推進の覚書」を調印したことで、ワンヘルスの取組は、医学と獣医学の垣根を越えて世界に広まることになりました



福岡県ワンヘルス推進基本条例

- 本県は、2016年11月に北九州市で開催された「第2回世界獣医師会－世界医師会“One Health”に関する国際会議」においてまとめられた「福岡宣言」の地として、これまでもワンヘルスの推進に取り組んできました
- 新型コロナウイルス感染症のパンデミックの発生により、県議会でワンヘルスの取組に対する機運が一気に加速し、2020年12月に全国初となる「福岡県ワンヘルス推進基本条例」を制定しました
- 「福岡県ワンヘルス推進基本条例」は、福岡県におけるワンヘルス実践の仕組みをつくることにより、人と動物の命や健康、環境の健全性を一体のものとして守り、その活動を次の世代につなげていくため、６つの基本方針を示した条例です
- 条例には、６つの基本方針のほか、「県民の理解促進」「県行動計画の策定」「ワンヘルス宣言事業者登録制度」「ワンヘルスセンター（仮称）の整備」などを進めることも定められています



ワンヘルス実践の基本方針（6つの課題への取組）

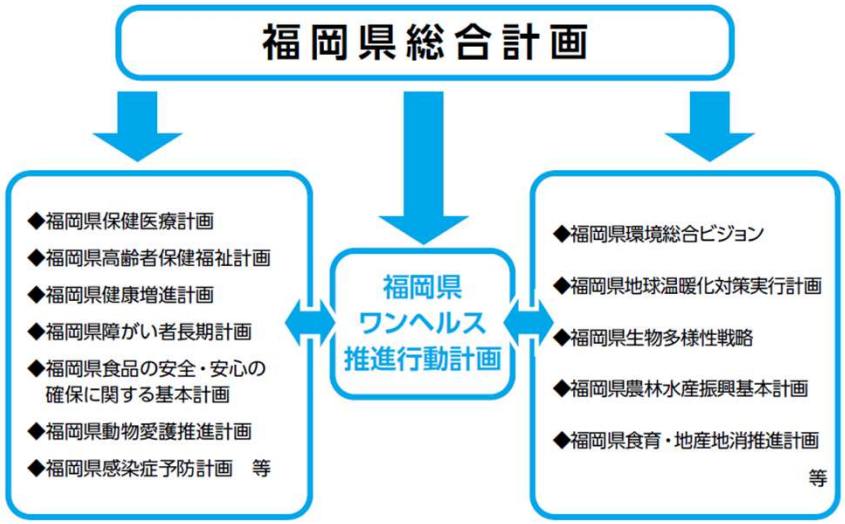
人獣共通感染症対策 医療、獣医療をはじめ各分野と連携し、発生予防、まん延防止を図る	**薬剤耐性菌対策** 薬剤の適正使用を推進する
環境保護 自然環境の保全を図る	**人と動物の共生社会づくり** 動物愛護の推進と野生動物の理解と共存を図る
健康づくり 自然や動物とのふれあいを通じた健康づくり	**環境と人と動物のより良い関係づくり** 健全な環境下における安全な農林水産物の生産・消費、食育を推進する

福岡県ワンヘルス推進行動計画

- 「福岡県ワンヘルス推進行動計画」は、「福岡県ワンヘルス推進基本条例」に基づき、本県におけるワンヘルスの実践の仕組みを構築するために、本県のワンヘルスの推進に関する施策または取り組みを体系的に整理し、策定するものです

福岡県ワンヘルス推進行動計画

- 「目指す姿」である「次世代につなぐ　人と動物の健康及び健全な環境が調和した社会」を実現するために、「福岡県ワンヘルス推進基本条例」における６つの基本方針に、ワンヘルスの理念の普及や中核拠点の整備等を推進するための「ワンヘルス実践の基盤整備」を加えた７つの柱を設定します。本県では、この７つの柱ごとに具体的な施策を展開し、ワンヘルスの実践に取り組んでいきます
- また、策定に当たっては、本県の行政運営の指針となる「福岡県総合計画」を踏まえ、県の各分野の関連計画と整合を図りました。なお、ワンヘルスの取組は様々な分野に関連することから、今後、本計画の趣旨を、各分野の関連計画にも反映していきます



7つの柱	取組事項
1 人獣共通感染症対策	1. 発生予防（平時の対応） 2. まん延防止（患者発生時の対応） 3. 動向調査、監視 4. 研究開発、創薬 5. 普及啓発
2 薬剤耐性菌対策	1. 動向調査、監視 2. 感染予防、管理 3. 抗微生物薬の適正使用 4. 普及啓発
3 環境保護	1. 生物多様性の保全 2. 地球温暖化対策 3. 大気・水・土壌環境保全対策 4. 普及啓発
4 人と動物の共生社会づくり	1. 人と愛玩動物の関係性の向上 2. 災害発生時等に備えた体制整備 3. 人と野生動物との共存
5 健康づくり	1. 自然とのふれあいを通じた健康づくり 2. 愛玩動物とのふれあいを通じた健康づくり
6 環境と人と動物のより良い関係づくり	1. 健全な環境下における安全な農林水産物の生産等 2. 生産・消費における環境への負担の低減 3. 地産地消・食育の推進 4. 有益な微生物の活用
7 ワンヘルス実践の基盤整備	1. 啓発活動の推進 2. 教育の推進 3. 中核拠点の整備等

福岡県令和7年度
ワンヘルスボンドの概要

令和7年度　ワンヘルスボンドの発行概要

- 令和7年5月に福岡県として初となるワンヘルスボンド（5年債・50億円）を発行しました
- 発行額を大幅に上回る需要を獲得しており、利率については一般の地方債と比べ0.02%低い水準で発行することが出来ました

令和7年度　発行概要

年限	5年（満期一括償還）
発行額	50億円
利率	1.171%
発行日	令和7年5月30日
主幹事	大和証券株式会社（事務）／三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社／野村證券株式会社
格付け	ムーディーズ・ジャパンから国債と同格の「A1（安定的）」の格付を取得
第三者評価	第三者機関である株式会社格付投資情報センター（R&I）から、国際資本市場協会（ICMA） によるグリーンボンド原則2021及び環境省グリーンボンドガイドライン2024年版等への適合性について、 評価を取得
ESG債種別	サステナビリティボンド

令和7年度　ワンヘルスボンドの投資表明結果

- 県内外の36件（うち県内21件）の投資家の皆様にご購入いただき、本件の取り組みに賛同する33件（うち県内21件）の投資表明をしていただきました

投資表明投資家一覧（令和7年6月30日時点、五十音順）

※　購入投資家のうち3社は投資表明なし

- 株式会社　アイシーエス
- 宇美町
- 大竹商工会議所
- オリックス銀行株式会社
- 社会福祉法人　恩賜財団済生会支部福岡県済生会
- 鹿屋市
- 株式会社　環境開発
- 佐賀県国民健康保険団体連合会
- 篠栗町
- 佐野信用金庫
- 皿倉登山鉄道株式会社
- 医療法人順和　長尾病院
- 新宮町
- 正晃　株式会社
- 全国官報販売協同組合
- ソニー損害保険株式会社
- 株式会社筑邦銀行
- 一般社団法人つなぐいのち
- Ｔ＆Ｄフィナンシャル生命保険株式会社
- 株式会社西日本シティ銀行
- 公益財団法人ニビキ育英会
- 日本地震再保険株式会社
- 株式会社東日本銀行
- 兵庫県
- 株式会社フォレストホールディングス
- 株式会社 福岡銀行
- 公益社団法人　福岡県看護協会
- 一般社団法人　福岡県私学教育振興会
- 一般財団法人福岡県退職教職員協会
- 福岡県農業共済組合
- 株式会社　マルキョウ
- 株式会社宮崎太陽銀行
- みやま市

令和7年度
サステナブルファイナンス・フレームワーク
（ワンヘルスボンド発行）
に基づくレポーティング

令和7年度　ワンヘルスボンドの管理・運営・透明性評価について

プロジェクトの評価及び選定のプロセス	● 本フレームワークにおいて対象となる各事業は、本県の総務部財政課が候補を選定し、県庁内関係各部との協議を経て最終決定します ● 対象となる各事業はいずれも、地方自治法及び関係諸法令に基づき策定され、必要な議会での審議を経て議決され、予算として計上されるものです ● なお、環境面および社会面から重大な負の影響を直接的に生じさせることが明らかになった事業については、その対象から除外します
調達資金の管理	**【調達資金と資産の紐づけ方法と追跡管理の方法】** ● 地方自治法第208条に基づく会計年度独立の原則に基づいて、地方公共団体における各会計年度における歳出はその年度の歳入（地方債によって調達された資金もこれに含む）をもってこれに充てられます。また、個別プロジェクトの充当状況について総務部財政課と各部予算決算担当課が連携し、充当状況の把握を行い、発行超過等が起こらないよう、適切に管理します。こうしたことにより、福岡県ESG債の発行により調達された資金は、当該会計年度中に適格プロジェクトに充当されます ● 会計年度の終了時には、適格プロジェクトを含む本県の全ての歳入と歳出について執行結果と決算関係書類が作成され、県の監査委員による監査を受けます。その後、決算関係書類は監査委員の意見を付して県議会に提出され、承認されることになります **【調達資金の追跡方法に係る内部統制】** ● 福岡県ESG債の発行による調達資金の適格プロジェクトへの充当については、本県の会計制度に基づいた歳入予算の経理区分で分類します。また、充当するプロジェクトと支出額を明確にしながら管理します **【未充当資金の管理方法】** ● 未充当資金が発生した場合には充当されるまで、本県の規定に基づき、現金または安全性の高い金融資産で運用します
レポーティング	**【資金充当状況レポーティング】** ● 充当するプロジェクト名及び充当金額を本県ウェブサイトで、起債翌年度に開示します。なお、調達資金の充当計画に大きな状況の変化が生じた場合には、速やかに開示します **【インパクトレポーティング】** ● プロジェクトの実施による環境・社会的課題の解決に関する環境改善効果や社会的成果を記載するレポーティングについては、「福岡県 サステナブルファイナンス・フレームワーク」にて定める指標を、実務上可能な範囲内で、本県のウェブサイト上で起債翌年度に開示します。なお、プロジェクトに関し、当初想定から大きな状況の変化が生じた場合には、速やかに開示します

令和7年度　資金の充当状況に係るレポーティング

- 「人の健康」「動物の健康」「環境の健全性」を１つと捉え、一体的に守っていく“ワンヘルス”をテーマとした、全国初となる「ワンヘルスボンド」を発行しました。調達した50億円は以下の事業へ充当しました

資金使途・環境改善効果／社会貢献効果等の一覧

プロジェクト分類	対象事業	充当金額（百万円）	充当金額のうちグリーンプロジェクトへの充当金額（百万円）	効果・実施内容
（グリーン適格プロジェクト） **グリーンビルディング** **省エネルギー** （ソーシャル適格プロジェクト） **手ごろな価格の基本的インフラ設備** **必要不可欠なサービスへのアクセス**	ワンヘルスセンター（仮称）（動物保健衛生所・保健環境研究所など）の整備（ZEB化）	1,845.9	1,845.9	● グリーンビルディング認証取得状況 ➢ 動物保健衛生所：ZEB Ready取得（取得日：令和7年2月18日及び令和7年3月28日） ➢ 保健環境研究所：ZEB Ready取得（取得日：令和7年3月28日） ● 整備事業内容：動物保健衛生所の整備、保健環境研究所における研究棟の新築・既存棟の一部解体撤去及び改修 ● 整備された施設の件数：2施設（動物保健衛生所、保健環境研究所）
（グリーン適格プロジェクト） **自然資源・土地利用の環境維持型管理**	林道整備	489.2	489.2	● 林道整備：10路線（林道千々谷～滝の脇線、林道豊前耶馬溪線、林道五駄・土師山線など） ● 林道密度：13.6m/ha（目標値）

令和7年度　資金の充当状況に係るレポーティング

資金使途・環境改善効果／社会貢献効果等の一覧

プロジェクト分類	対象事業	充当金額（百万円）	充当金額のうちグリーンプロジェクトへの充当金額（百万円）	効果・実施内容
（グリーン適格プロジェクト） **生物多様性の保全**	豊前海区・有明海区での漁場の整備、底質環境の改善	922.5	922.5	● 実施内容：鋼製魚礁設置、覆砂・堆積物除去 ● 実施場所：豊前海区（北九州市恒見沖）、有明海区 ● カサゴ、メバル等の増殖を図る増殖場の整備面積:1.13ha ● 覆砂面積：54.9ha、堆積物除去面積:1.5ha
	屋外のワンヘルス体験学習・研究ゾーン（仮称）の整備	170.9	170.9	● 整備箇所　植生：森林エリア、草原エリア、湿原エリア 水系：ため池、水路、掘割 ● 整備面積：1 ha
（ソーシャル適格プロジェクト） **手ごろな価格の基本的インフラ設備** **必要不可欠なサービスへのアクセス**	庁舎等の整備（保健所の整備）	288.8	0	● 整備事業内容：高効率空調機器への更新 ● 整備された施設の件数：5施設（田川総合庁舎、直方総合庁舎、飯塚総合庁舎、柳川総合庁舎、筑紫総合庁舎）
	教育関連施設・設備の整備（ワンヘルス教育を実践する県立高校の整備）	1,282.7	0	● 整備事業内容：大規模改築（実施設計・改築工事） ● 整備された施設の件数：5施設（福岡農業高等学校、八女工業高等学校、行橋高等学校など）
		充当金額合計（百万円）：	**5,000.0**	
		充当金額合計のうちグリーンプロジェクトへの充当金額（百万円）：	**3,428.5**	
		グリーンプロジェクトへの充当比率（%）：	**68.57**	

令和7年度　ワンヘルスボンドの資金使途について

プロジェクト分類	対象事業	環境面での便益
グリーンビルディング、省エネルギー 手ごろな価格の基本的インフラ設備、 必要不可欠なサービスへのアクセス	ワンヘルスセンター（仮称）の整備（ZEB化）	温室効果ガスの排出量削減
自然資源・土地利用の環境維持型管理	林道整備	自然資源の保全

ワンヘルスセンター（仮称）の整備（ZEB化）

動物保健衛生所



保健環境研究所



- 人獣共通感染症対策や薬剤耐性菌対策などワンヘルスの課題に対応するため、福岡県みやま市に動物保健衛生所と保健環境研究所が相互に連携したワンヘルスセンター（仮称）を整備します

動物保健衛生所：
ZEB Ready取得（取得日：令和7年2月18日及び令和7年3月28日）

保健環境研究所：
ZEB Ready取得（取得日：令和7年3月28日）

林道整備

剣持～蚋道線



- 木材生産活動や森林の適正な維持管理に必要な林道を整備しました

林道整備：10路線
（林道千々谷～滝の脇線、林道豊前耶馬溪線、林道五駄・土師山線など）

林道密度：13.6m/ha（目標値）

令和7年度　ワンヘルスボンドの資金使途について

プロジェクト分類	対象事業	環境面での便益
生物多様性の保全	豊前海区・有明海区での漁場の整備、藻場・干潟の造成、覆砂による底質環境の改善	生物多様性の保全
	屋外のワンヘルス体験学習・研究ゾーン（仮称）の整備	

漁場の整備、藻場・干潟の造成、底質環境の改善

鋼製魚礁設置：
豊前海区（北九州市恒見沖）



覆砂、堆積物除去：
有明海区



- 水産物の安定供給と生物多様性保全の観点から魚礁の設置や干潟の保全、底質環境の改善等により、海や河川の特性に応じた漁場づくりを推進しています

鋼製魚礁設置：1箇所（21基）（豊前海区（北九州市恒見沖））
カサゴ、メバル等の増殖を図る増殖場の整備面積:1.13ha

覆砂・堆積物除去: 1 箇所（有明海区）
覆砂面積：54.9ha、堆積物除去面積:1.5ha

屋外のワンヘルス体験学習・研究ゾーン（仮称）の整備

屋外のワンヘルス体験学習・研究ゾーン（仮称）



- 1960年代の筑後地域の里地里山及び田園・掘割の景観、生態系を再現し、人と自然の共生社会を目指して、生物多様性を保全する観点から、ワンヘルスに関する教育・啓発を行う施設を整備しています

整備面積：1 ha

整備箇所：
植生:森林エリア、草原エリア、湿原エリア／水系:ため池、水路、掘割

令和7年度　ワンヘルスボンドの資金使途について

プロジェクト分類	対象事業
手ごろな価格の基本的インフラ設備、 必要不可欠なサービスへのアクセス	庁舎等の整備（保健所の整備）
	教育関連施設・設備の整備（ワンヘルス教育を実践する県立高校の整備）

保健所の整備

飯塚総合庁舎



空調外調機



- 新興感染症や地球温暖化等の課題に対応するため、保健福祉（環境）事務所が入居する総合庁舎の空調設備を改修し快適な室内環境を整備しました

整備された施設の件数：5施設
（田川総合庁舎、直方総合庁舎、飯塚総合庁舎、柳川総合庁舎、筑紫総合庁舎）

ワンヘルス教育を実践する県立高校の整備

福岡農業高等学校





- 生徒が快適で過ごしやすい環境を提供するため、老朽校舎の改築を行いました

整備された施設の件数：5施設
（福岡農業高等学校、八女工業高等学校、行橋高等学校など）

福岡県ワンヘルスボンド　投資表明一覧

福岡県ワンヘルスボンド　投資表明一覧（令和8年8月時点）

生保・損保

投資家	県内	R7	R8
ソニー損害保険株式会社		●	
Ｔ＆Ｄフィナンシャル生命保険株式会社		●	
日本地震再保険株式会社		●	

都銀等

投資家	県内	R7	R8
オリックス銀行株式会社		●	

中央公的

投資家	県内	R7	R8
株式会社日本貿易保険			●

地銀

投資家	県内	R7	R8
株式会社秋田銀行			●
株式会社徳島大正銀行			●
株式会社筑邦銀行	○	●	
株式会社西日本シティ銀行	○	●	
株式会社東日本銀行		●	●
株式会社福岡銀行	○	●	
株式会社宮崎太陽銀行		●	

地方公的

投資家	県内	R7	R8
石川県信用保証協会			●
宇美町	○	●	
鹿屋市		●	●
篠栗町	○	●	
新富町			●
新宮町	○	●	
鳥取県			●
兵庫県		●	
みやま市	○	●	

系統下部

投資家	県内	R7	R8
蒲郡市農業協同組合			●
北おおさか信用金庫			●
北つくば農業協同組合			●
佐野信用金庫		●	
大東京信用組合			●
西尾信用金庫			●
北海道信用金庫			●

福岡県ワンヘルスボンド　投資表明一覧（令和8年8月時点）

事業会社等

投資家	県内	R7	R8
株式会社アイシーエス		●	
株式会社環境開発	○	●	
皿倉登山鉄道株式会社	○	●	
正晃株式会社	○	●	
大洋興業株式会社			●
株式会社フォレストホールディングス	○	●	
株式会社マルキョウ	○	●	
山口金属曲板工業株式会社			●

医療法人

投資家	県内	R7	R8
医療法人順和長尾病院	○	●	
医療法人長岡内科・画像診断クリニック			●

学校法人

投資家	県内	R7	R8
学校法人十文字学園			●

社会福祉法人

投資家	県内	R7	R8
社会福祉法人恩賜財団済生会支部福岡県済生会	○	●	

各種組合等

投資家	県内	R7	R8
全国官報販売協同組合		●	
TISインテックグループ健康保険組合			●
福岡県農業共済組合	○	●	

財団法人・社団法人等

投資家	県内	R7	R8
一般社団法人つなぐいのち	○	●	
公益財団法人ニビキ育英会	○	●	
公益社団法人福岡県看護協会	○	●	
一般社団法人福岡県私学教育振興会	○	●	
一般財団法人福岡県退職教職員協会	○	●	
公益財団法人福島県スポーツ協会			●

その他

投資家	県内	R7	R8
大竹商工会議所		●	
佐賀県国民健康保険団体連合会		●	
佐賀県市町総合事務組合			●
静岡県農業信用基金協会			●

本件に関するお問い合わせ先

福岡県総務部財政課

住所	〒812-8577 福岡市博多区東公園7番7号	FAX	092-643-3059
TEL	092-643-3087	e-mail	zaisei@pref.fukuoka.lg.jp



県債情報（福岡県HP）

http://www.pref.fukuoka.lg.jp

県HP「県政基本情報」の「予算・決算・県債・宝くじ」に掲載しています